

「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(連携型)」キックオフ・シンポジウムを開催しました

平成27年11月9日(月)

平成27年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(連携型)」キックオフ・シンポジウム「女性研究者の活躍による岐阜創生をめざして～地域循環型女性研究者育成・支援プログラム～」を開催しました。このシンポジウムは、岐阜大学・岐阜薬科大学・岐阜女子大学・アピ株式会社と連携して行う本事業の趣旨や内容を紹介するとともに、女性研究者が活躍する地方創生に向けて、有意義な方策を考えるものとして行われました。



インド工科大学グワハティ校との第1回ウィンタースクールを実施しました

平成27年12月4日(金)～22日(火)

グローバル推進本部では、学术交流協定大学の一つであるインド工科大学グワハティ校(IITG)との国際協働教育の連携(サンドイッチプログラム、ジョイントディグリープログラム)の活性化を視野に入れ、本学への留学中の研究生活を体験する機会としてウィンタースクールを実施しました。60数名からなる応募者の中から8名が選抜され、研究室体験、日本語教育、日本文化体験、地域企業訪問等を行いました。



企業や地方自治体と各種協定を締結しました

平成27年10月から平成28年1月にかけて、5つの協定を締結しました。活力ある地域社会の形成・発展及び人材育成に寄与することを目的に、北方町・揖斐川町・岐南町と協定を結び、さらに、人的交流の活性化を目的にイオンリテール株式会社東海・長野カンパニーと協定を締結。静岡県とは、大学院連合農学研究科の教育研究活動の一層の充実と静岡県試験研究機関の研究業務の活性化を図ることを目的に協定を締結しました。

北方町と連携に関する協定を締結
平成27年11月20日(金)



揖斐川町と連携に関する協定を締結
平成28年1月19日(火)



イオンリテール株式会社東海・長野カンパニーと包括連携協定を締結
平成27年10月20日(火)



静岡県と教育研究協力に関する協定を締結
平成27年12月1日(火)



岐南町と連携に関する協定を締結
平成28年1月29日(金)



連合農学研究科、カセサート大学(タイ)とダブルPhDディグリープログラムを締結

平成28年2月1日(月)・2日(火)

大学院連合農学研究科は、タイのカセサート大学との間で、ダブルPhDディグリープログラムを締結しました。2月1日(月)には、千家正照連合農学研究科長がグンジャナ准教授(大学院研究科長)やポンピポブ副学長と懇談した後、調印式及びピッチェン准教授へ客員教員称号付与を行いました。2日(火)には、理学部微生物学科内に設置されたIC-GU12の微生物に関する共同実験室の開所式などを実施しました。



教育学部の赤松諒一さんが「清流の国ぎふ栄誉賞」を受賞しました

平成28年2月22日(月)

教育学部2年生の赤松諒一さんが第84回日本学生陸上競技対校選手権大会の男子走高跳で優勝し、岐阜県から「清流の国ぎふ栄誉賞」が贈られました。受賞を受け、陸上部顧問である教育学部の原田教授と学長室を訪問。森脇久隆学長は祝福の言葉とともに「これから更に上を目指してください」とメッセージを送りました。競技中の心理状態や駆け引きに関することが話題になり、和やかな報告となりました。



第67回 岐大祭を開催しました

平成27年10月29日(木)～11月1日(日)

「岐大祭」は、学生の正課研究、学術文化活動及び課外活動の祭典で、毎年、学生が自主的に企画・運営を行い、開催しています。今回のテーマは「祭典」。積極的に、挑戦的に活動し、「最強」の岐大祭を実現すること、また、関わった全ての方々に「最高」と言ってもらえる学祭を実現することの意味が込められています。今年は新企画としてミスコン・ミスターコンも開催。天候にも恵まれ盛況のうち終了しました。



岐阜大学フェア2015を開催しました

平成27年10月30日(金)・31日(土)

一般や企業の方を対象に、岐阜大学の教育、研究、社会貢献活動を知ってもらおうと毎年実施している「岐阜大学フェア」。会場では技術シーズや地域連携に関する発表のほか、生命科学分野、環境科学分野、ものづくり分野の代表的な研究成果のパネル展示を行いました。また、応用生物科学部附属比較がんセンター主催のシンポジウム、小中学生を対象とした実験教室なども催され、約1,000名が来場しました。



平成27年度学位記授与式を行いました

平成28年3月25日(金)

長良川国際会議場において、平成27年度学位記授与式を行い、学部学生1,288人、大学院学生525人が卒業・修了しました。森脇久隆学長は「習得された考え方は広く人文、社会、自然科学領域全般に適用し、展開を図ることが可能です」と激励し、在学生代表として、地域科学部の高崎佳奈さんと応用生物科学研究科の森ことのさんが送辞を述べ、卒業生代表の工学部鈴木千貴さんと修了生代表の医学系研究科小島千明さんが力強く決意を語りました。



事務職員の武藤大造学生支援課学生指導係長が岐阜北警察署から表彰されました

平成28年3月30日(水)

事務職員の武藤大造学生支援課学生指導係長が、還付金詐欺を未然に防いだとして、岐阜北警察署から署長感謝状が贈呈されました。武藤係長は、学内ATMの場所を尋ねてきた高齢女性へ対応している際、女性の携帯電話にかかってくる電話を不審に思い、代わりに電話に出るなどして詐欺を確信。警察に通報しました。感謝状を贈呈された武藤係長は「周りの者が注意を払い、お声かけする心が大事だと思う」と話しました。



ラモス瑠偉氏が客員教授に就任しました

平成27年11月1日(日)

選手、監督、指導者として日本サッカー界の歴史を築き牽引されてきたラモス瑠偉氏を客員教授として招へいしました。ラモス氏は、岐阜のスポーツ振興に加えて、地域活性化や社会教育など様々な活動を県内で展開されています。12月9日(水)に開かれた平成27年度文部科学省「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」キックオフシンポジウムにおいて特別講演が行われ、地域リーダーを目指す学生へ熱いメッセージが送られました。



第46回 岐阜大学フォーラムを開催しました

平成27年11月4日(水)

「環境ユニバーシティ宣言」をした11月を環境月間と定め、岐阜大学フォーラム「環境ユニバーシティフォーラム」を毎年開催しています。今回は世界淡水魚園水族館アクア・トトぎふの学芸員・池谷幸樹氏を講師に招き、「アクア・トトの学芸員が語るホントの水族館～生物多様性と飼育員の苦労話～」と題して、本来の生物の姿を水族館で再現する奮闘の様子が語られました。また、地域科学部の向井貴彦准教授との対談も行われました。

